

科 目 名

工業科教育法Ⅱ

Teaching Method of Industrial Course Ⅱ

4年 後期 2単位 選択

八 田 豊

概 要

後期における工業科教育法Ⅱは、前期で学んだ工業科の現状認識と工業科教員像をもとに、座学・実験・実習の授業法、生徒指導法、進路指導法のノウハウのみならず、工業科教員としての指導力向上に向けた教材開発法、工業技術等に関する情報収集力・分析力や「ものづくり」技術力向上など、工業科教員としての専門性と教養の深化を図ることをねらいとしている。

また、本講座をとおして工業科教員としての教育理念を習得し、熱き思いで一步先を目指す能動的な教員、授業中でも人生が語れる教員になれるよう実践的な授業を展開していく。

授業の目標

- ・ 分かり易い授業、個に応じた学習指導の在り方等について考えさせる。(実践力強化)
- ・ 工業教育の役割と目標を理解し、工業科教員に必要な教育観を身につけさせる。(表現力強化)
- ・ 教員として必要な専門性だけでなく、「ものづくり教育」をベースとした技術指導の在り方と技術指導者としての心構え、教員としての品格の必要性を認識させる。(人格的権威強化)

授業計画

- 1 イントロ～教壇は教員の晴れ舞台&工業立国日本を支える発信源～
- 2 工業科教員に求められる人間像（現状と改善）
- 3 生徒理解と指導法（事例研究）
- 4 学級経営と家庭連携の在り方（「モンスターペアレンツ」対応策）
- 5 高校における各種職務内容と学校マネジメント
- 6 キャリア教育実践（キャリアピラミッド表の作成）
- 7 キャリアピラミッドの発表会&討議
- 8 進路を実現させるポイント（各種書類作成ノウハウ）
- 9 資格検定合格、ものづくり教育（全国工業高校の現状と取組、事例紹介）
- 10 工業教育を活用した地域に根ざした教育実践（事例紹介）
- 11 企業に学ぶ指導力強化法（教員の企業研修・共同研究）
- 12 授業で人生を語れる教員を目指して（人生ノート作成法）
- 13 生徒の進路を実現させる面接指導法（実技指導）
- 14 工業教員「論作文」及び教育実習のワンポイント・レッスン
- 15 まとめ（定期考査）

授業方法

本県の工業高校では「ものづくりは人づくり」をベースにしながら全国的にも高い実績と評価を得ている。その基本となる考え方が、「頭で記憶するのではなく体で記憶する」である。本授業では、実践的な工業科教育法を習得することを目標としており、事例研究と討議を数多く取り入れていく。

評価方法

- 出席状況（授業中のミニレポートで出席確認）
- 授業中の態度
- 定期考査

教 材

特に指定しない（必要に応じて資料配付と参考書紹介を行う）

そ の 他